輪舞（1950）

LA RONDE
ROUNDABOUT

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 97分
初公開日 1952/07/25
公開情報 新外映＝ＮＣＣ

【解説】

Ａ・ウォルブルックの気取ったマント男が揚々と解説をしながら（その度に印象的なＪ・コスマのテーマ曲が流れる）、まさに輪舞のように回り連なる幾つもの恋模様。娼婦シニョレは若い兵士（Ｓ・レジアニ）に本気になり、それを逃れた彼はＳ・シモンの小間使いの純血を奪い、その主人Ｄ・ジェランの色事師の小説家は彼女を弄んだ上に、上流夫人のＤ・ダリューをものにする。彼女の夫は色っぽくなった妻を誉めるが、彼にも秘め事の相手はあり、その売り子娘（Ｏ・ジョワイユ）を追い回す詩人のＪ＝Ｌ・バローの本命は女優（Ｉ・ミランダ）で、彼女が目下夢中なのはＪ・フィリップの伯爵士官（その装飾的な制帽の似合うこと。まさに希代の美丈夫である）。その彼が散々、女優と遊蕩の挙句たどりついたは先の娼婦の部屋。泥酔から醒めた彼は女を天使にも喩え、その純潔をはかなくしたと思い込むのだが……。オフュルス的としか言いようのない滑らかなカメラの動き、壮麗なセットが現出させる、今世紀初頭のウィーンの退廃の香り。官能にむせ、夢心地である。

【クレジット】

監督	マックス・オフュルス	Max Ophuls	
原作	アルトゥール・シュニッツラー	Arthur Schnitzler	
脚本	マックス・オフュルス	Max Ophuls	
	ジャック・ナタンソン	Jacques Natanson	
撮影	クリスチャン・マトラ	Christian Matras	
編集	レオニド・アザール	Léonide Azar	
音楽	オスカー・ストラウス	Oscar Strauss	
出演	ダニエラ・ジェラン	Daniel Gélin	若旦那
	シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret	娼婦
	ダニエル・ダリュー	Danielle Darrieux	人妻
	アントン・ウォルブルック	Anton Walbrook	狂言廻し
	セルジュ・レジアニ	Serge Reggiani	兵隊
	シモーヌ・シモン	Simone Simon	小間使い
	オデット・ジョワイユ	Odette Joyeux	娘
	ジャン＝ルイ・バロー	Jean-Louis Barrault	詩人
	イザ・ミランダ	Isa Miranda	女優
	ジェラール・フィリップ	Gerard Philipe	伯爵
	フェルナン・グラヴェ	Fernand Gravey	夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.